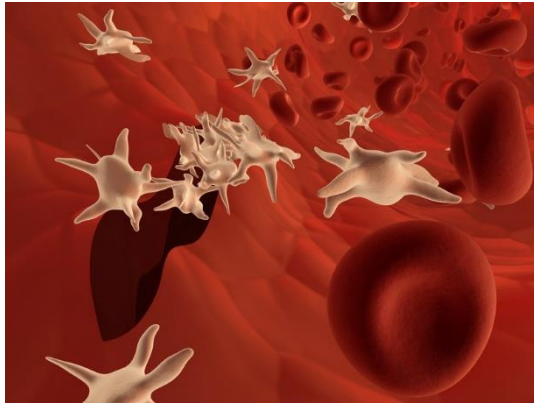


＜関節内に対するPRP療法とは＞

- 血小板(けっしょうばん)の大きな働き
 - 血小板は血液中の成分の一つです。
 - 出血した時に血液を止める働きがあります。
 - さらに、組織の修復を促す「成長因子(せいちょういんし)」という物質を放出し、傷んだ組織を治すのを助けます。



- PRP(多血小板血漿)について
 - PRP は、ご自身の血液を特殊なキットで遠心分離し、この血小板を高濃度に集めた液体(血漿)です。
 - PRP には豊富な成長因子が含まれており、コラーゲン合成や新しい血管の形成(血管新生)、炎症を抑える作用(抗炎症作用)などにより、組織の修復を促進することが知られています。
 - この治療は、欧米を中心に整形外科・スポーツ医学の分野で頻繁に使われ、アスリートの競技復帰を早めたり、手術を回避できる可能性がある、優れた治療法です。

＜この治療のメリット・安全性＞

- 安全性の高さ
 - ご自身の血液(細胞)を用いるため、他人由来の物質による免疫反応(アレルギーなど)の危険性が少なく、安全な治療法です。
 - 抽出操作は清潔な環境で行うため、感染症を起こす心配は基本的ありません。
 - 重篤な副作用(重いアレルギーなど)のリスクは低いとされています。
- 期待できる効果

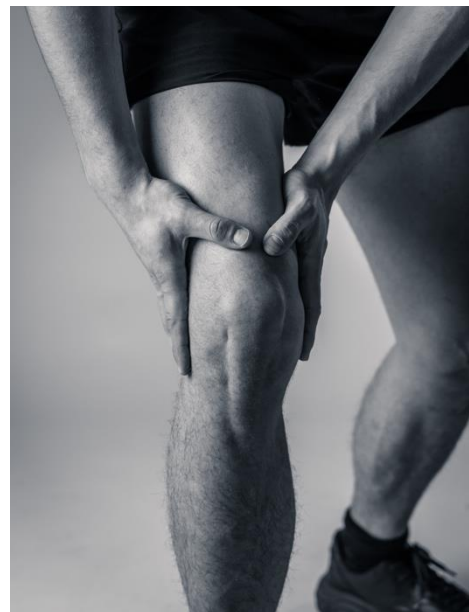
- 炎症を抑え、組織の修復を促進することで、**痛みの軽減等**が期待できます。
- 特に、一般的な鎮痛剤やステロイド注射よりも高い除痛効果が期待される場合があります（適切な安静を保った場合）。

⚠️ <この治療のデメリット・リスク>

- **費用負担**
 - PRP 療法は**保険適用外の治療（自由診療）**となるため、全額自己負担となります。
- **効果の個人差**
 - 症状や疾患の進行度によって、**効果の程度や効果が現れるまでの期間に個人差**があります。**全ての方に同様の効果が得られるわけではありません。**
- **注射後の痛みや腫れ**
 - PRP を注射した直後、特に**関節内注射**では、一時的に**痛みや腫れ、熱感**などが数日～1 週間程度強く出ることがあります（反応痛）。通常は時間の経過とともに治まります。
 - その他、採血・注射に伴う一般的な痛みや腫れ、内出血などのリスクがあります。

👤📋 <適応となる症状（治療の対象となる症状）>

- **慢性的な関節や関節周囲の痛みが対象**となります。
- **下肢の例**
 - 変形性膝関節症（膝の痛み）
 - 変形性足関節症（捻挫や骨折後の足関節の痛み）
- **上肢の例**
 - 変形性肩関節症（慢性的な肩の痛み）



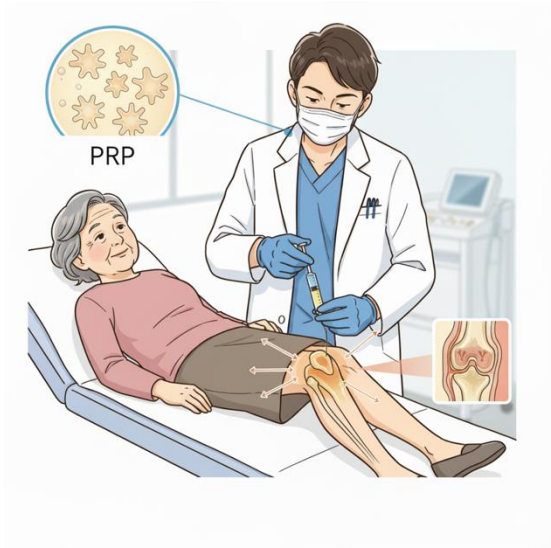
- 肘・手関節の怪我の後の慢性的な関節痛

31 <治療の流れ>

ステップ	内容	所要時間
全行程		約 1 時間です。
採血	腕から採血を行います(約 20cc)。	
PRP 作成	採血した血液を PRP キットへ注入し、遠心分離機にかけます。	
PRP 抽出	血小板が高濃度に含まれる層を抽出します(2 キット使用)。	
患部へ注入	細い針の注射器で、痛む場所(患部)の数カ所へ注射します。	
患部の安静	注入後、ベッドで 15 分程度安静にいただきます。	



ACR研究会より引用



＜費用(自由診療)＞

- PRP 療法は**保険適用外(自由診療)**です。
- **3 回セット**(1 回あたり 2 キット使用): **¥110,000** (税込)
 - (補足: 治療回数や間隔については、医師にご確認ください)

＜法律に関する表記と実施施設＞

- 当院は「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、以下の認可を受けています。
 - 特定細胞加工物製造の届出を行い、細胞培養加工施設としての認可。
 - 同法に基づく**第二種再生医療の再生医療等提供計画の認可**。
- なお、本治療は**同メディカルセンター内の関連施設「ミューズシティクリニック」**にて行います。

＜治療後の注意点＞

- **注射当日**: 感染症予防のため、注射部位をお風呂の湯、温泉などに付けないようにご注意ください(シャワー浴は可能です)。
- **安静期間**: 施術後数日間～7 日程度は、激しい運動などを避け、患部を安静に保つ必要があります。
- **痛み・腫れ**: 術後数日間にわたり、痛みや腫れ、熱感などが出ることがありますが、通常は自然に治まります。痛みが続く場合は、必ず医師にご相談ください。
- **治療を受けられない方**: 妊娠中・授乳中の方など、一部条件に該当される方は治療を受けられません。詳細については医師にご確認ください。